

榛原総合病院 だより

2023
第 207 号



年頭のごあいさつ

院長 森田 信敏

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆さまからの多大なるご支援、ご協力を賜り、新年を迎えることができました。コロナ禍にあっては、感染対策等、職員の弛まぬ努力があったからこそ、一般診療を継続できていると自負しております。

日本チームが善戦をしたワールドカップ中継を見ると、マスクをしている観客はまったくおらず、世界のコロナはもう終わったという感覚を我々に与えました。

しかし、残念ながら年末に入りコロナ患者数は激増し、当院のコロナ病棟入院患者様も途切れることのない状況が続いています。行動制限が無くなりつつありますし、確かにワクチン接種者の重症化率は高くなく、治療薬も登場して当初のように有効な策が無い状況ではありませんが、それでも高齢者にとっては死亡の危険もある病気であることには変わりなく、医療者にとっては相変わらず気を緩めることができません。

もはやアフターコロナと言う方はおらず、どうやってウィズコロナで生活していくかであり、病院もコロナが蔓延している前提で、どうやって院内に入れさせず他の一般医療を行うかを考える時代になっています。

そのような状況を踏まえ、コロナ発生前に地域医療体制協議会で許可をいただきながらコロナ対応に集中するため、2年間も開棟延期を続けている“地域包括ケア病棟”の開棟を今年こそはなんとか成し遂げるつもりです。医師、スタッフ確保などまだ厳しい課題が残りますが、なんとか開棟にこぎつけ一歩前進したいと考えておりますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

当院の使命は地域医療を守り、地域の方のあらゆる病期に対応できるよう急性期から回復期、慢性期、そして在宅医療までバランスのとれた医療を継続展開することです。引き続き生き残りをかけて病院運営をおこなって行きたいと考えております。

今年一年が牧之原、吉田地域にとり、また榛原総合病院にとってすばらしい年になることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



新任医師紹介

<1月赴任医師>

ばんば たくや

■ 外科 : 馬場 卓也 医師



●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●
地域の皆さんありがとうございます！

ボランティア活動報告<10月・12月の活動>

10月14日(金) 牧之原市赤十字奉仕団の皆さん 60人

(構内駐車場・ロータリー・第1・第2駐車場の草刈り)

10月22日(土) 牧之原市民生委員児童委員協議会の皆さん 23人 (第2駐車場草刈り)

12月15日(木) ボランティア連絡協議会の皆さん 5人 (クリスマスツリー飾りつけ)



<おねがい> 受診の際には、必ず『おくすり手帳』をご持参ください。